

平成5年度 (1993年)

この年、新年早々、1月に笹川杯第1回地球ユース選手権が関東学連主管で行われた。続く2月にはヨーロッパ遠征として、分裂直後のチェコとスロバキア、さらにドイツへの遠征を行ない、スロバキアオープンへの参加も果たしている。

5月にスウェーデン・イエテボリにおいて行われた第42回世界選手権には、本連盟より増田秀文(専大)、田崎俊雄(明大)の2名が出場した。

この年、男子は、春(リーグ)専大、夏(インカレ)明大、秋(リーグ)中大と優勝校が分かれ、混戦の様子がうかがえる。

女子も男子同様、春・大正大、夏・青学大、秋・専大、と優勝校が分かれたが、この内、河合・横田を軸とした青学大のインカレ4連覇は偉業であったと言える。

個人では世界選手権代表にも選ばれた増田が活躍。リーグ戦でも、この年、9勝1敗で春季優勝の立て役者であったが、個人戦では、関東学生・単を制し、ついには故障しながらも全日学・単をも制した。日本人選手が全日学・男子単を制したのは8年ぶりの快挙であった。これ以後、全日学・男子単は外国人留学生選手と日本人選手が拮抗しつつ、日本人選手が連続制覇しているが、その先鞭をつけた意義は大きかった。

また、全日本において糀谷(早大)が決勝に進出、「久々の学生チャンピオン誕生か」と思わせたが、惜しくも松下浩二(日産自動車)に敗れ、準優勝に留まった。

なお、この年、最上級生であった周宏(埼玉大)・詹莉(淑徳短大)の中国人留学生コンビは、リーグ戦でそれぞれ34戦全勝・20戦全勝を飾った。その実力と、下部でのプレーが多かったことを考えれば当然とも言える結果ではあるが、ゲームもほとんど落とさず、全く負けなかったことは賞賛に値する。また、大場(中大)が勝ち星を30の大会に乗せている。

その他では、この年よりリーグ戦においてオレンジボールが採用されるようになった。卓球界全体の流れからは数年遅れであったが、関東学連でもカラー化の第一歩が踏み出された。台はグリーンのままであったが、ユニフォームに白が認められ、リーグ戦全体が華やかになった。この年の秋季リーグでは前3日間の会場が代々木第2体育館、後の2日間の会場が中央大学体育館で行なわれた。

また、この年より登録年齢制限(毎年4月1日現在、28歳未満の者に登録資格を限定する)が設けられ、一方、外国籍選手の登録規定が緩和された。これらは、いずれも日学連の決定に準じたものであり、年齢制限に関しては、ユニバーシアードの規定などを参考にしている。

運営面では、この年、関東学連創立66年目にして初めて女性の幹事長(小田晶子・東女体大)が誕生した。



全日学・男子単で8年ぶりの日本人チャンピオン増田秀文(専大)



リーグ戦通算30勝の大会に乗せた大場範子(中大)

関東学生新人選手権大会…中大が3種目を制す。男子・山形は2冠王

- ◇男子シングルス
準決勝
山形 勝(中大)2(4, 8)0立藤伸二(専大)
青木和弘(専大)2(15, 9)0上原 卓(日体大)
決勝
山形 勝(中大)2(17, 14)0青木和弘(専大)
◇男子ダブルス
準決勝
巽 義則(中大)2(16, 14)0 渡辺 敬文(大正大)
山形 勝 濱中 晃一
立藤伸二(専大)2(-25, 12, 15)1 横山 隆(日大)
青木和弘 服部 有一郎
決勝
巽 義則(中大)2(16, -18, 19)1 立藤 伸二(専大)
山形 勝 青木 和弘

- ◇女子シングルス
準決勝
笹森美千代(淑徳短大)2(12, 11)0山崎玲奈(富士短大)
岸田 朋子(大正大)2(-16, 12, 19)1小野千代(富士短大)
決勝
笹森美千代(淑徳短大)2(20, -17, 18)1岸田朋子(大正大)
◇女子ダブルス
準決勝
村上敏恵(中大)2(13, 19)0 鹿野 紀子(日大)
宮尾ちさ 高橋 舞子
中村理恵(大正大)2(-17, 8, 19)1 岩本 歩(専大)
岸田朋子 長田多恵子
決勝
村上敏恵(中大)2(19, 17)0 中村 理恵(大正大)
宮尾ちさ 岸田 朋子

関東学生選手権大会…男女とも単・決勝はゲームオールジュースの激戦。男子は世界代表の増田が制す。

- ◇男子シングルス
準々決勝
増田秀文(専大)3(15, 18, -11, 18)1徳村智彦(明大)
三木 尚(専大)3(-14, 18, 26, 15)1渡部将史(中大)
中田幸信(明大)3(12, 18, -19, 14)1山形 勝(中大)
田崎俊雄(明大)3(14, -15, -18, 10, 17)2皆川颯一(大正大)
準決勝
増田秀文(専大)3(12, 19, 16)0三木 尚(専大)
中田幸信(明大)3(-13, 14, -17, 17, 18)2田崎俊雄(明大)
決勝
増田秀文(専大)3(-16, 18, 19, -18, 20)2中田幸信(明大)
(増田は初優勝)
◇男子ダブルス
準決勝
渡部将史(中大)2(20, 14)0 道広直行(駒大)
窪 久司 濱中 晃一
川嶋崇弘(専大)2(-20, 6, 14)1 立藤伸二(専大)
増田秀文 青木和弘
決勝
渡部将史(中大)2(13, 14)0 川嶋崇弘(専大)
窪 久司 増田秀文
(渡部・窪組は初優勝)

- ◇女子シングルス
準々決勝
李 泰熙(日体大)3(15, 14, 13)0坂田 倫子(日大)
竹内めぐみ(専大)3(-16, 20, 20, 8)1石井 陽子(中大)
大野 知子(早大)3(8, -9, 12, 20)1川崎 小巻(専大)
野末 知穂(日大)3(17, -19, 18, 20)1大場 範子(中大)
準決勝
李 泰熙(日体大)3(20, 11, 8)0竹内めぐみ(専大)
大野 知子(早大)3(-20, 4, 13, 15)1野末 知穂(日大)
決勝
李 泰熙(日体大)3(-21, 19, -18, 16, 20)2大野 知子(早大)
(李は初優勝)
◇女子ダブルス
準決勝
野末 知穂(日大)2(18, -12, 17)1 内藤 和子(富士短大)
坂田 倫子 山崎 玲奈
竹内めぐみ(専大)2(9, 20)0 小泉 晶子(大正大)
川崎 小巻 福田 正美
決勝
野末 知穂(日大)2(16, 16)0 竹内めぐみ(専大)
坂田 倫子 川崎 小巻
(野末・坂田組は初優勝)

春季リーグ戦…男子・増田が単復7戦全勝 女子・大正大は複2ペアが9戦全勝

- 男子1部
専修大 4 - 2 明治大
1 三木 尚 0(-11, -18)2 田崎俊雄○
2 増田秀文 2(14, 18)0 中田幸信
3 立藤伸二 2(18, 12)0 永野兼之
4 川嶋崇弘 2(12, -17, 13)1 徳村智彦
増田秀文 中田幸信
5 藤本武司 0(-19, -21)2 徳村智彦○
6 川嶋崇弘 2(20, 17)0 山崎一也
7 小林 仁 坂巻雄一
(専修大は9季ぶり23回目の優勝)

- 女子1部
大正大 4 - 0 富士短期大
1 宇佐美由香 2(17, 20)0 平井由規子
2 中村 理恵 2(15, 16)0 内藤 和子
3 宇佐美由香 2(17, -16, 18)1 平井由規子
藤村 有美 迫 由美
4 小泉 晶子 2(20, 18)0 山崎 玲奈
5 小泉 晶子 内藤 和子
福田 正美 山崎 玲奈
6 横山 幸子 迫 由美
7 福田 正美 岡田 理恵
(大正大は28季ぶり3回目の優勝)

- 入替戦
男子・大正大(1部)4-1 青山学院大(2部)
女子・淑徳短期大(2部)4-1 日本体育大(1部)

秋季リーグ戦…男女とも4年生が母校を優勝に導く。男子・入山と外間が5戦全勝。女子・竹内と池西が4勝あげる。

- 男子1部
中央大 4 - 3 明治大
1 渡部将史 0(-15, -9)2 中田幸信○
2 山形 勝 2(21, -18, 18)1 永野兼之
3 入山浩治 2(-9, 12, 16)1 坂巻雄一
4 渡部将史 0(-16, -21)2 中田幸信○
窪 久司 田崎俊雄
5 外間政克 2(-11, 18, 18)1 徳村智彦
6 窪 久司 0(-12, -17)2 田崎俊雄○
7 巽 義則 2(12, 16)0 稲垣康生
(中央大は6季ぶり13回目の優勝)

- 女子1部
専修大 4 - 3 中央大
1 大亀さくら 2(13, 16)0 宮尾ちさ
2 川崎 小巻 0(-10, -12)2 石井陽子○
3 池西サチ子 0(-26, -19)2 大場範子○
大亀さくら 片岡美穂
4 竹内めぐみ 2(16, -19, 8)1 大場範子
5 竹内めぐみ 2(-19, 16, 11)1 村上敏恵
川崎 小巻 宮尾ちさ
6 長田多恵子 1(14, -18, -17)2 村上敏恵○
7 池西サチ子 2(11, 17)0 下田祥子
(専修大は3季ぶり33回目の優勝)

- 入替戦
男子・大正大(1部)4-1 日本体育大(2部)
女子・日本大(2部)4-1 淑徳短期大(1部)

平成5年度・春季

男子1部	明治大	専修大	中央大	大正大	日本大	早稲田大	勝敗	得失	順位
明治大		●2-4	○4-1	○4-1	○4-1	○4-3	4-1	18-10	2
専修大	○4-2		○4-3	○4-0	○4-3	○4-1	5-0	20-9	1
中央大	●1-4	●3-4		○4-3	○4-0	●3-4	2-3	15-15	4
大正大	●1-4	●0-4	●3-4		●1-4	●3-4	0-5	8-20	6
日本大	●1-4	●3-4	●0-4	○4-1		●3-4	1-4	11-17	5
早稲田大	●3-4	●1-4	○4-3	○4-3	○4-3		3-2	16-17	3



殊勲賞 増田 秀文(専大)
 敢闘賞 田崎 俊雄(明大)
 優秀選手賞 増田 秀文(専大)
 田崎 俊雄(明大)
 徳村 智彦(明大)
 最優秀新人賞 田崎 俊雄(明大)

平成5年度・春季

女子1部	富士短期大	大正大	専修大	中央大	日本体育大	青山学院大	勝敗	得失	順位
富士短期大		●0-4	●1-4	○4-1	○4-3	○4-3	3-2	13-15	2
大正大	○4-0		○4-1	○4-1	○4-1	○4-1	5-0	20-4	1
専修大	○4-1	●1-4		●0-4	○4-1	●3-4	2-3	12-14	5
中央大	●1-4	●1-4	○4-0		○4-0	○4-3	3-2	14-11	3
日本体育大	●3-4	●1-4	●1-4	●0-4		●2-4	0-5	7-20	6
青山学院大	●3-4	●1-4	○4-3	●3-4	○4-2		2-3	15-17	4



殊勲賞 小泉 晶子(大正大)
 敢闘賞 大場 範子(中大)
 優秀選手賞 小泉 晶子(大正大)
 大場 範子(中大)
 横田 亜季(青学大)
 最優秀新人賞 該当者なし

平成5年度 春季リーグ戦成績表

男子	1	2	3	4	5	6	
1部	専修大	明治大	早稲田大	中央大	日本大	大正大	
2部	青山学院大	埼玉工業大	日本体育大	駒沢大	筑波大	慶應義塾大	
3部	A	千葉商科大	法政大	東京大	国学院大	東京理科大	(千葉経済大)
	B	神奈川大	東洋大	横浜国立大	東京農業大	東京学芸大	順天堂大
4部	A	創価大	埼玉大	武蔵大	東京工業大	国士館大	大東文化大
	B	上智大	成蹊大	関東学院大	帝京大	千葉大	東京農工大
	C	学習院大	東海大	武蔵工業大	明星大	立正大	群馬大
	D	東京経済大	立教大	東京都立大	東京電機大	茨城大	明治学院大
5部	A	電気通信大	独協大	西東京科大	一橋大	日本工業大	東京工芸大
	B	芝浦工業大	淑徳大	都留文科大	明治薬科大	横浜商科大	日本獣畜大
	C	横浜市立大	千葉工業大	山梨学院大	山梨大	防衛大学校	文教大
	D	宇都宮大	高崎経済大	工学院大	東京国際大	東京医歯大	玉川大
6部	A	足利工業大	東京薬科大	I C U	東京外語大		
	B	産能大	成城大	湘南工科大			
	C	日工学院専	星薬科大	東京水産大			
	D	流通経済大	中央工学校	(桜美林大)			
	E	東京歯科大	二松学舎大	東京商船大			

女子	1	2	3	4	5	6	
1部	大正大	富士短期大	中央大	青山学院大	専修大	日本体育大	
2部	淑徳短期大	日本大	東京女体大	早稲田大	東洋大	和洋女子大	
3部	A	東京学芸大	東成徳短大	都留文科大	千葉経短大	学習院大	茨城大
	B	慶應義塾大	筑波大	日本女体大	立正大	埼玉大	文教大
4部	A	宇都宮大	千葉大	立教大	山梨大	共立薬科大	東京薬科大
	B	桜美林大	法政大	淑徳大	明治学院大	(大妻女子大)	(東京農工大)
	C	群馬大	創価大	東京都立大	群馬県女大	流通経済大	上智大
	D	横浜国立大	東京国際大	東京理科大	東京農業大	東京外語大	武蔵大
5部	A	I C U	(成蹊大)				
	B	津田塾大	星薬科大				
	C	日本獣畜大	成城大	創価女短大			
	D	東京家政大	明治薬科大				
編成外		産能短期大	東海大	東京経済大	工学院大	中央工学校	産能大
		独協大	聖心女子大	東京歯科大			

「編成外」はリーグ戦登録を行っていないチーム(学連登録のみ行っているチーム)
 ()はリーグ戦登録後、棄権したチーム

平成5年度・秋季

男子1部	専修大	明治大	早稲田大	中央大	日本大	大正大	勝敗	得失	順位
専修大		●0-4	○4-3	●2-4	○4-0	○4-3	3-2	14-14	3
明治大	○4-0		○4-3	●3-4	○4-1	○4-0	4-1	19-8	2
早稲田大	●3-4	●3-4		●2-4	○4-3	○4-2	2-3	16-17	4
中央大	○4-2	○4-3	○4-2		○4-2	○4-2	5-0	20-11	1
日本大	●0-4	●1-4	●3-4	●2-4		○4-2	1-4	10-18	5
大正大	●3-4	●0-4	●2-4	●2-4	●2-4		0-5	9-20	6



殊勲賞 外間 政克 (中大)
 敢闘賞 田崎 俊雄 (明大)
 優秀選手賞 入山 浩治 (中大)
 中田 幸信 (明大)
 糀谷 博和 (早大)

平成5年度・秋季

女子1部	大正大	富士短期大	中央大	青山学院大	専修大	淑徳短期大	勝敗	得失	順位
大正大		○4-0	●2-4	○4-2	●3-4	○4-3	3-2	17-13	3
富士短期大	●0-4		●1-4	●3-4	●0-4	○4-3	1-4	8-19	5
中央大	○4-2	○4-1		○4-3	●3-4	●1-4	3-2	16-14	2
青山学院大	●2-4	○4-3	●3-4		●2-4	○4-3	2-3	15-18	4
専修大	○4-3	○4-0	○4-3	○4-2		○4-3	5-0	20-11	1
淑徳短期大	●3-4	●3-4	○4-1	●3-4	●3-4		1-4	16-17	6



殊勲賞 竹内めぐみ (専大)
 敢闘賞 石井 陽子 (中大)
 優秀選手賞 池西サチ子 (専大)
 詹 莉 (淑徳短大)
 宇佐美由香 (大正大)

平成5年度 秋季リーグ戦成績表

男子	1	2	3	4	5	6
1部	中央大	明治大	専修大	早稲田大	日本大	大正大
2部	日本体育大	青山学院大	埼玉工業大	駒沢大	筑波大	千葉商科大
3部	A 慶應義塾大	東洋大	東京農業大	東京大	創価大	東京理科大
	B 法政大	横浜国立大	東京学芸大	国学院大	神奈川大	学習院大
4部	A 成蹊大	宇都宮大	東京電機大	順天堂大	国士館大	武蔵工業大
	B 東海大	千葉大	東京工業大	上智大	東京都立大	群馬大
	C 帝京大	立教大	武蔵大	明治学院大	千葉経済大	立正大
	D 埼玉大	東京経済大	関東学院大	茨城大	明星大	横浜市立大
5部	A 電気通信大	淑徳大	東京国際大	足利工業大	山梨学院大	日本工業大
	B 文教大	千葉工業大	芝浦工業大	一橋大	工学院大	横浜商科大
	C 高崎経済大	西東京科大	玉川大	大東文化大	明治薬科大	防衛大学校
	D 独協大	都留文科大	山梨大	東京農工大	東京医歯大	東京歯科大
6部	A 日本獣畜大	東京水産大	成城大			
	B 産能大	(星薬科大)	(桜美林大)			
	C 日工学院専	東京外語大	東京商船大	(中央工学校)		
	D I C U	二松学舎大	流通経済大			
	E 東京薬科大	東京工芸大	湘南工科大			

女子	1	2	3	4	5	6
1部	専修大	中央大	大正大	青山学院大	富士短期大	淑徳短期大
2部	日本大	日本体育大	東京女体大	和洋女子大	東洋大	早稲田大
3部	A 筑波大	東京学芸大	学習院大	都留文科大	立正大	文教大
	B 日本女体大	慶應義塾大	宇都宮大	埼玉大	(千葉経済短大)	(東京成徳短大)
4部	A 東京農業大	東京都立大	茨城大	共立薬科大	I C U	法政大
	B 山梨大	東京理科大	創価大	津田塾大		
	C 立教大	東京国際大	武蔵大	群馬大	明治学院大	流通経済大
	D 千葉大	横浜国立大	群馬県女大	東京薬科大	淑徳大	東京外語大
5部	A 創価女短大					
	B 玉川大	上智大	成城大			
	C 日本獣畜大	明治薬科大				
	D 東京家政大	東京医歯大				
編成外	産能短期大	東海大	東京経済大	工学院大	中央工学校	産能大
	独協大	聖心女子大	東京農工大	星薬科大	成蹊大	

「編成外」はリーグ戦登録を行っていないチーム (学連登録のみ行っているチーム)

() はリーグ戦登録後、棄権したチーム

平成5年度(1993年)

第63回全日本大学対抗卓球大会(金沢市総合体育館) …男子・明大、躍進の愛工大を破る。
女子・青学大、4連覇を達成。中大は5年連続決勝で涙を飲む。

◇男子団体

準々決勝
明治大 3-0 早稲田大
専修大 3-0 大正大
愛知工業大 3-2 中央大
駒沢大 3-1 埼玉工業大

準決勝
明治大 3-0 専修大
○中田幸信 2(-14,15,18)1 増田秀文
○坂巻雄一 2(17,14)0 三木尚
○中田幸信) 2(-20,15,12)1 (川嶋崇弘
田崎俊雄 増田秀文
田崎俊雄 立藤伸二
徳村智彦 川嶋崇弘

愛知工業大 3-0 駒沢大
○安藤正勝 2(15,17)0 須藤裕郎
○今枝一郎 2(16,11)0 濱中史郎
○今枝一郎) 2(14,18)0 (道広直行
鬼頭明 濱中史郎
八尾聡 道広直行
鬼頭明 谷崎明彦

決勝
明治大 3-1 愛知工業大
○中田幸信 2(10,19)0 伊藤高弘
坂巻雄一 0(-18,-10)2 今枝一郎○
○中田幸信) 2(12,19)0 (今枝一郎
田崎俊雄 鬼頭明
○田崎俊雄 2(15,5)0 鬼頭明
徳村智彦 安藤正勝
(明治大は4年ぶり7回目の優勝)
敢闘賞 中田幸信(明治大)

◇女子団体

準々決勝
青山学院大 3-1 富士短期大
専修大 3-0 日本大
中央大 3-2 東北福祉大
日本体育大 3-2 大正大

準決勝
青山学院大 3-2 専修大
○河合雅世 2(-18,9,14)1 竹内めぐみ
遠藤美香 0(-14,-19)2 池西サチ子○
○河合雅世) 2(14,12)0 (竹内めぐみ
横田亜季 川崎小巻
野末愉美 1(-19,19,-18)2 大亀さくら○
○横田亜季 2(14,14)0 川崎小巻

中央大 3-0 日本体育大
○大場範子 2(13,19)0 金子滋美
○宮尾ちさ 2(18,17)0 李泰照
○大場範子) 2(11,19)0 (岡本直子
片岡美穂 金子滋美
石井陽子 菊地綾乃
片岡美穂 井口昌子

決勝
青山学院大 3-0 中央大
○河合雅世 2(-16,14,19)1 大場範子
○遠藤美香 2(15,-15,15)1 石井陽子
○河合雅世) 2(12,-16,17)1 (大場範子
横田亜季 片岡美穂
野末愉美 片岡美穂
横田亜季 宮尾ちさ
(青山学院大は4年連続8回目の優勝)
敢闘賞 河合雅世(青山学院大)

第60回全日本学生選手権大会(藤沢市・秋葉台文化体育館) …増田、日本人として8年ぶりに男子シングルスに制す。

◇男子シングルス

準々決勝
増田秀文(専大) 3(17,16,-12,18)1 中田幸信(明大)
今枝一郎(愛工大) 3(16,18,-16,10)1 徳村智彦(明大)
森本洋治(日大) 3(-18,18,15,17)1 田崎俊雄(明大)
周宏(埼工大) 3(12,11,13)0 皆川颯一(大正大)

準決勝
増田秀文(専大) 3(18,17,-13,15)1 今枝一郎(愛工大)
森本洋治(日大) 3(21,-13,-16,11,17)2 周宏(埼工大)

決勝
増田秀文(専大) 3(19,14,14)0 森本洋治(日大)
(増田は初優勝)

◇男子ダブルス

準決勝
今枝一郎(愛工大) 2(-23,6,20)1 山形勝(中大)
鬼頭明 巽義則
梶谷博和(早大) 2(-21,18,16)1 川嶋崇弘(専大)
平亮太 増田秀文

決勝
今枝一郎(愛工大) 2(11,-20,12)1 梶谷博和(早大)
鬼頭明 平亮太
(今枝・鬼頭組は初優勝)

◇女子シングルス

準々決勝
韓 艶(龍谷大) 3(6,13,-13,20)1 横田亜季(青学大)
大場範子(中大) 3(13,-15,-11,16,14)2 藤村有美(大正大)
李泰照(日体大) 3(16,18,21)0 西飯美幸(愛工大)
詹莉(淑徳短大) 3(9,8,20)0 買春麗(別府短大)

準決勝
韓 艶(龍谷大) 3(18,2,17)0 大場範子(中大)
李泰照(日体大) 3(-15,-18,24,12,24)2 詹莉(淑徳短大)

決勝
韓 艶(龍谷大) 3(15,13,22)0 李泰照(日体大)
(韓は2年ぶり2回目の優勝)

◇女子ダブルス

準決勝
河合雅世(青学大) 2(-11,6,14)1 内藤和子(富士短大)
横田亜季(青学大) 2(-11,6,14)1 山崎玲奈(富士短大)
竹内めぐみ(専大) 2(16,18)0 遠藤こず枝(青学大)
川崎小巻(専大) 2(16,18)0 長尾由理(青学大)

決勝
河合雅世(青学大) 2(-21,14,18)1 竹内めぐみ(専大)
横田亜季(青学大) 2(-21,14,18)1 川崎小巻(専大)
(河合・横田組は初優勝)



インカレ優勝の明治大・男子



関東学連主催で行われた笹川杯第1回地球コース卓球選手権大会(会場、東京体育館)



第42回世界選手権・イエテボリ大会・日本代表、ヤングジャパンの旗手となった田崎俊雄(明大)



新人戦・単複2冠王に輝いた山形勝(中大)



ヨーロッパ遠征選手団